

令和7年度 いなべ市立ふじわらこども園 自己評価

No.	評価項目	評価
1	保育理念・方針・目標を全職員が理解・共有し、園運営や日々の保育に活かしているか。	できている
2	職員の役割分担や責任範囲が明確で、共通理解が図られているか。	努力が必要
3	保育内容や課題について職員間で定期的に話し合い・情報共有をしているか。	できている
4	実習生や新人職員への研修・育成体制が整備され、積極的に実施されているか。	できている
5	職員の労働環境や健康に配慮し、必要に応じて改善しているか。	できている
6	職員間は風通しの良い、相談しやすい雰囲気、年齢や経験にかかわらず、意見が言える職場であるか。	できている
7	保育課程・指導計画は子どもの発達・興味・地域性等を考慮して作成されているか。	できている
8	計画や記録、行事等について定期的に評価・見直しを行い、改善に生かしているか。	できている
9	気になる子や障害児への配慮・支援が計画的かつ全職員の共通理解のもと実施されているか。	できている
10	幅広い多様性（文化的背景、性別、外国籍など）の配慮について、職員全体で意識の向上を図っているか。	できている
11	子どもの健康・安全（視診、感染症対策、アレルギー、SIDS、事故防止等）に十分配慮しているか。	できている
12	年齢や発達段階ごとの配慮（乳児、1～2歳、3歳以上等）を実践し、記録や話し合いで共有しているか。	できている
13	子どもの自主性や主体的な遊び、生活習慣の育成、情緒の安定、表現力、対人関係など多様な発達領域に配慮しているか。	できている
14	保育室や園庭、玩具・遊具・教材など、子どもの発達と安全に配慮した環境づくりがなされているか。	できている
15	保護者との連絡や面談、保育内容や子どもの様子についての情報共有・相談対応が適切に行われているか。	できている
16	開かれたこども園とし、保護者のニーズに合わせた十分な情報提供（翻訳対応、デジタルツールの活用等）に取り組んでいるか。	できている
17	地域との連携（行事、情報提供、交流等）や地域資源の活用に取り組んでいるか。	努力が必要
18	各種マニュアルや規程（緊急時、個人情報保護、苦情対応等）の整備・見直しを行い、職員の共通理解を図っているか。	できている
19	保育記録・健康記録等、書類の整備・保存・個人情報管理が適切に行われているか。	できている
20	職員の資質向上のため、定期的な研修や研究活動・事例共有を実施し、保育実践に反映しているか。	努力が必要
21	上記の項目全体について、定期的に自己評価を行い、その結果をもとに具体的な改善策を計画・実施しているか。	できている

【気づきとふりかえり】（自己評価の結果から見えた強み・課題、今後の改善計画や取組方針などを記入）

- ・職員間で話しやすい雰囲気、風通しもある。
- ・子どものことを一番に考え、クラスの共有・連携ができ楽しく保育ができている。
- ・異年齢のこども同士の関わりを増やし、職員も連携を密にできると良い。
- ・行事日程の変更は早めに決め、保護者に連絡するようにする。
- ・保育・行事などの計画・反省が職員全体に行き届いていないところもあるので、全員に共有できるようにしたい。
- ・保育士それぞれのポジションでの役割を明確にして責任をもって保育・準備にあたると良い。
- ・藤原は町内に1園なので地域が広く連携がとて難しいのが今後の課題である。